

平成 29 年度 秋田県立衛生看護学院 保健科推薦入学試験Ⅱ問題

健康支援と社会保障制度

解答は解答用紙に記入すること。

問1 日本の人口について正しいものに○、誤っているものに×をつけなさい。

- 1 総人口は、昭和 25 年の調査以降増加が続いている。
- 2 平成 26 年の人口で最も多い年齢は、第 2 次ベビーブームの 40～43 歳である。
- 3 平成 26 年の労働力人口をみると、男女とも前年を下回った。
- 4 1 世帯当たりの平均世帯人員をみると、平成 26 年に初めて 3 人を下回った。
- 5 平成 22 年の生涯未婚率（50 歳時の未婚者の割合）は男性で約 20%である。

問2 次のうち正しいものに○、誤っているものに×をつけなさい。

- 1 近年、後期高齢者医療費は国民医療費の 50%を占めている。
- 2 訪問看護を健康保険で利用した場合、自己負担の割合は介護保険と同じである。
- 3 精神疾患で通院治療する場合は、精神障害者保健福祉手帳制度によって医療費が給付される。
- 4 結核の治療では、医療費公費負担制度により自己負担はない。
- 5 難病等患者は、障害者総合支援法のサービスを受けることができる。

問3 次のうち正しいものに○、誤っているものに×をつけなさい。

- 1 2000 年以降の水道普及率は 100%に達している。
- 2 大気汚染の苦情件数の推移をみると減少傾向にある。
- 3 労働者の健康診断の有所見率の推移をみると血圧が最も高い。
- 4 HIV感染者の推移をみると年々増加している。
- 5 食中毒患者数の推移をみると死者数は近年 0 人である。

問4 次の文の（ ）内に適切な語句を書きなさい。

- 1 人口動態統計は出生、死亡、死産、（ ① ）、（ ② ）についての統計である。
- 2 人口維持のために、2.1 程度が必要だといわれている指標は（ ③ ）率である。
- 3 人口 10 万人に対する 1 年間の新発生患者数をみる指標は（ ④ ）率である。
- 4 男女別に年齢別の人口を低年齢から順に積み重ねた図のことを（ ⑤ ）という。

問5 次の文の（ ）内に適切な語句を書きなさい。

- 1 集団全体に対して、健康障害へのリスク因子の低下をはかる方法を（ ① ）アプローチという。
- 2 疾病の予防や治療、健康の保持・増進のため、人々が第一次的に利用する保健サービスのことを（ ② ）ケアという。
- 3 世界保健機関（WHO）が「人々がみずからの健康とその決定要因をコントロールし、改善することができるようにするプロセス」と定義しているのは（ ③ ）である。
- 4 国際生活機能分類（ICF）では、生活機能に影響を及ぼす因子として「（ ④ ）因子」、「（ ⑤ ）因子」をあげている。

問6 次の文は生活保護に関して説明したものである。（ ）内に適切な語句を書きなさい。

生活保護制度は（ ① ）法により規定されている。保護の原則として「申請保護の原則」、「（ ② ）および程度の原則」、「必要即応の原則」、「（ ③ ）単位の原則」の4つがある。扶助の種類は8つあるが、最も新しく追加された扶助は（ ④ ）扶助である。

問7 次の文は身体障害者に関して説明したものである。どちらか正しい方を選び記号を書きなさい。

身体障害者については①（ a 障害者基本法 b 身体障害者福祉法 ）で「身体上に障害のある②（ a 18 b 20 ）歳以上の者であって、③（ a 都道府県知事 b 市町村長 ）から身体障害者手帳の交付を受けたもの」と定義している。障害は、「視覚障害」、「聴覚・言語障害」、「肢体不自由」、「心臓・腎臓・呼吸器・膀胱または直腸・ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害などの内部障害」がありこのうち最も多い障害は④（ a 聴覚・言語障害 b 肢体不自由 ）である。これらの障害の程度は1級から⑤（ a 6 b 7 ）級まで区分されている。

問8 次の疾患は定期の予防接種を行うが、接種開始年齢が早い順に番号を書きなさい。

- 1 ジフテリア・百日せき・急性灰白髄炎・破傷風
- 2 小児の肺炎球菌感染症
- 3 結核
- 4 水痘

問 9 下表は国民生活基礎調査による世帯構造別にみた 65 歳以上の者のいる世帯数の推移である。世帯構造は、「単独世帯」、「夫婦のみの世帯」、「夫婦（ひとり親）と未婚の子のみの世帯」、「三世帯世帯」、「その他の世帯」の 5 つに分類される。

	推計数（千世帯）				
	A	B	C	D	その他の世帯
平成 元年（'89）	4,385	2,257	1,592	1,260	1,280
平成 7 年（'95）	4,232	3,075	2,199	1,636	1,553
平成 13 年（'01）	4,179	4,545	3,179	2,563	1,902
平成 19 年（'07）	3,528	5,732	4,326	3,418	2,260
平成 25 年（'13）	2,953	6,974	5,730	4,442	2,321

- 1 A～Dのうち単独世帯はどれか、記号を書きなさい。
- 2 平成 25 年の 65 歳以上の者のいる世帯総数に占める三世帯世帯の割合を求めなさい。
(小数点第 2 位以下を四捨五入)
- 3 この表から考えられる介護上の問題を 3 つ書きなさい。

問 10 下表はA県の衛生統計である。

単位：人

年少人口	120,000
生産年齢人口	600,000
老年人口	330,000
出生数	6,000
死亡数	16,000
死産数	170
乳児死亡数	15

- 1 自然増加率を求めなさい。(小数点第 2 位以下を四捨五入)
- 2 乳児死亡率を求めなさい。(小数点第 2 位以下を四捨五入)
- 3 老年人口指数を求めなさい。(小数点第 2 位以下を四捨五入)

